

を得るため

3. 概 要

1. 煮沸液浸漬処理
2. 木酢酸鉄：水＝1：60の溶液に浸漬
3. neosilox 60%溶液にて漂白後
木酢酸鉄：水＝1：40の溶液に浸漬
4. 木酢酸鉄：水＝1：20の溶液に浸漬
(浸漬時間はいつでも15分間)

4. 成 果

木酢酸鉄：水の割合を1：60，1：40とした場合はヤ、着色においてムラがあり薄目の仕上りとなつた。又neosiloxにて漂白したものは大体において良い結果が得られた。1：20の割合のものは濃度，塗理の生かし方とも非常にすぐれている。

家具として使用するため充分に利用価値ありと思はれる結果を得た。

(9)台湾桐の着色試験

1. 担当者

工業技師 山田式典

2. 目的

現在，その利用範囲のきわめてせまい，タイワン桐校板の利用度拡大，高級家具等々の利用を計る意味において今回はさしあたり洋酒棚内側化粧用として利用出来得るか否かにつき検討するために着色試験を行つた。

3. 概 要

染色方法

材料	1.5 g
染料	3% (0.045 g)
助剤	10% (0.15 g)
浴比	1：50
温度	60～80 (°C)
時間	60 min

左の条件でイエロー，オレンジ
ブラウン，レッド，ブルー，グレー
ブラックの各染料を試料各3点に
使用染色を行つた。

4. 成 果

染色の結果ブラック，ブラウン，イエローの最も濃度の高いものは充分使用し得ると思はれる結果を得た。

(10)桜材の人工乾燥における含水率低下に伴う木材の収縮状態について

1. 担当者

工業技師 山田式典

2. 目的

木材が乾燥するにつれて生ずる収縮については，一般にセウイ方向に対しては，問題がなく，切線方向対半径方向については，2：1位の割で収縮され